

町内探検隊

安城市内を巡る町内探検隊。今回の桜町は、JR安城駅近くで商店街や市役所・郵便局があり安城でもメジャーな町です。が、あるのは知っているも行ったことのないところも多いのではないのでしょうか？そんな場所を紹介したいと思います。

まず目に入ったのは桜町小学校のシンボル、桜の壁画です。モザ



桜町小学校(正門前の東壁画)

イクタイルで作られた壁画は、子どもたちのデザインを元に作られたそうです。のびのびと咲く桜の花は、明るく元気な子どもたちのようで見ているこちらまで元気になれます。

そして次に目に入ったのが、エンゼルマークでした。市役所西にある、森永製菓(株)中京工場です。事務管理課の中垣さんによると、このマークは創業当時作っていたマシュマロが「エンゼルフード」と呼ばれていたことからきているそうです。もともとここは食品加工



1986年から使われている7代目のエンゼルマーク



お話を聞いた中垣清孝さん

今月の舞台 桜町

今月の探検隊員 國見佳代子さん



工場だったので、最初はそれを生かして、お菓子ではなく地元でとれた農産物を使ってジャムやジュースなどを生産していたそうです。

最後は恐らく足を踏み入れる機会などなさそうな安城市議会議場です。議員30名で構成されている議会は、3・6・9・12月の定例会と臨時会があります。議会の様子は市役所内のモニター以外に傍聴もできるので、行ってみたいかがでしょうか。



議長席から見た議場の様子

わたしの望遠郷

ふるさと東御市は、わたしが49年前に就職して信州を出た時は和・祢津・滋野・県・北御牧という5ヶ村の農村でした。今は高速道路、新幹線、国道バイパス、浅間サンライン、菅平ロードなどが建設され、農工商のバランスのとれた住み良いところ。浅間連峰を背にし、前方は八ヶ岳連峰から美ヶ原、北アルプス連峰まで眺望でき、市の中心部は千曲川の清流が下っている山紫水明なところ。浅間連峰の山頂付近には林道でつながり、湯の丸高原、池の平湿原、高峰高原が一体化して



います。登山・キャンプ・スキー・牧場・花見・紅葉・眺望など子どもから老人まで楽しめます。特にレンゲツツジ、ヤナギラン、コマクサなど標高2000~3000m級の高山植物まで見ることができます。ここでは新張地区から群馬県嬭恋村に通じる道があり、100体の石造りの観音様が110mおきに祀られています。

人の居住する所は浅間連峰の扇状地から蓼科山裾の台地です。江戸時代に北国街道の宿場とし



今も残る海野宿のまちなみ

長野県東御市

て栄えた海野宿は千曲川右岸で現在にその姿を残しています。海野格子が有名で、道の真中には石造りの川があり、そこには石橋がかかっています。

戦前から養蚕の衰退がはじまり、果樹に替わってゆきました。昭和23年ころから農業生産力の増強が推し進められ、その1つの手段として多角経営などが検討され、県の職員であった父や義父などが安城に視察に来ていました。それが今の果樹園・畜産・花作り・野菜作りなどの繁栄につながったと思います。そして兼業、委託農業になり、地盤整備など効率化もほぼ終わりつつあります。

この先ふるさととはどう変わっていくのでしょうか。

正村 英治さん(榎前町)

元気っ子アルバム

うえむらこのか
上村木乃香ちゃん(3歳)
みさき
美咲ちゃん(1歳)



幼稚園が大好きなお姉ちゃんのこのかと、ヨチヨチ歩きでお散歩に行くのが楽しみな妹のみさきです。仲良し姉妹です！
お父さん：真徳さん
お母さん：裕美子さん(大東町)

おおみしん
大参駿くん(11か月)



はじめまして！しゅんです☆とてもマイペースな性格だよ。早く歩けるようになってパパとママと一緒に散歩したいな☆
お父さん：正和さん
お母さん：百理さん (東栄町)

いしかわ きいちろう
石川喜一朗くん(5か月)



はじめまして、きいちろうです。毎日パパと寝返りの練習をするよ。早くできるといいなー。パパ、いつもありがとね♡
お父さん：喜章さん
お母さん：恵子さん (百石町)

「わたしの望遠郷」「元気っ子アルバム」コーナーでは、皆さんからの投稿をお待ちしています。
わたしの望遠郷▶皆さんの出身地を紹介 元気っ子アルバム▶皆さんのお子さんを紹介
申し込み方法など詳しくは、電話で秘書課広報広聴係へ。

スクールナビ

安城南中学校

学校を紹介するスクールナビ。今回は、安城南中学校です。学校を代表して、5人の生徒会役員が集まってくれました。「学校が誇れるものは何？」と聞くと「南中文化！」との声。平成元年から『あいさつ・歌・花』を中心にして取り組んできた、南中生徒の精神とも呼べるものです。

現在は特に『歌』に重点を置いているそうです。生徒が作詞し、有名な作曲家が曲をつけてくれ、CDとして販売もされているのだとか。今年度の3年生の歌『希望を胸に大空へ』の作詞者でもある矢澤さんにどんな曲かと尋ねると、なんと、その場にいた5人で歌ってくれました。

「歌声集会などで他の

クラス・学年とも交流が持てるところが良い。長距離歩行(午前6時に知多半島の師崎をスタートして、約40kmの道を歩いて学校へ帰ってくる学校行事)の時も、また自然教室でも歌を歌っていました。苦しいときも、楽しいときも私たちは歌を歌っています。南中生は、文化祭での合唱コンクールや、体育大会での応援コンクールなど行事に燃え、小さな事でも頑張れます」と生徒たちは



スローガンの「飛躍〜ホップ・ステップ・ジャンピング〜」の決めポーズ！で応えてくれた、左から鈴木さん、水島さん、西脇さん、矢澤さん、原田くん



体育館に飾られている過去数年分のパズル

は言います。小さな事でも、たとえば、文化祭実行委員がその年のテーマに合わせたパズルのデザインを全校生徒から募集、決定します。そして生徒1人が5・6枚のピースを作り、文化祭当日、完成したパズルがお披露目されます。1ピースは5cm×5cmの小さな紙片ですが、全校生徒947人が協力してできあがるのは2.5m×5mにもなる大きな壁画。今年のテーマは「ジャンプ」です。